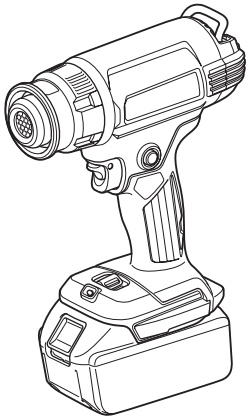
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

# 取扱説明書

# 充電式ヒートガン

モデル HG181D



このたびは**充電式ヒートガン**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

# 目次


・主要機能 ---------- 3
・安全上のご注意 ---------- 4
・充電式ヒートガン安全上のご注意 ---------- 12
・各部の名称および標準付属品 ---------- 14
・別販売品のご紹介 ---------- 15
・バッテリ（別販売品）について ---------- 17
・使い方 ---------- 20
  ・スイッチの操作 ---------- 20
  ・温度調整と風量切替 ---------- 22
  ・先端ノズルの取り付け・取りはずし ---------- 24
  ・上向き作業 ---------- 25
・作業方法 ---------- 26
  ・加熱 ---------- 26
・保護機能 ---------- 29
  ・本製品およびバッテリの保護機能 ---------- 29
・故障かな？と思ったら ---------- 30
・保守・点検について ---------- 31
  ・保管する際は ---------- 31
  ・本製品のお手入れ ---------- 31
  ・ご修理の際は ---------- 31

# 主要機能

| 主要機能＼モデル | HG181D |
|---|---|
| 電動機 | 直流マグネットモータ |
| 使用可能バッテリ（別販売品） | リチウムイオンバッテリ |
| | BL1815N（容量 1.5 Ah）<br>BL1820B（容量 2.0 Ah）<br>BL1830（容量 3.0 Ah）<br>BL1830B（容量 3.0 Ah）<br>BL1840（容量 4.0 Ah）<br>BL1850（容量 5.0 Ah）<br>BL1850B（容量 5.0 Ah）<br>BL1860B（容量 6.0 Ah） |
| 電圧 | 直流 18V |
| 温度 | 環境温度～ 550 ℃（無段調節） |
| 風量 | 1：70 L/min ※ 1（120 L/min）※ 2<br>2：110 L/min ※ 1（200 L/min）※ 2 |
| 連続使用時間 | 風量 1 段の場合：30 分（ダイヤル 6）<br>風量 2 段の場合：21 分（ダイヤル 6） |
| ノズル取付径 | 34.5 mm |
| 本製品寸法 | 長さ 173 mm ×幅 79 mm ×高さ 255 mm |
| 質量※ 3 | 1.3 kg |

※ 1：製品から吐出される風量
※ 2：周囲の空気を巻き込んだ風量
※ 3：BL1860B 装着時

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## バッテリアダプタ類について

- 本製品はバッテリアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

# 安全上のご注意

JPA050-2

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

## 注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

## ⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
・ バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- ノズルなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具からはなれるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。

6. ノズルはきれいな状態を保ってください。
- ノズルを適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメントは、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

## ⚠警告

2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

## ⚠警告

**15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。**
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

**16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。**
- 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

**17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。**
- 性能が低下したり、故障の原因になります。

### 整備

**1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。**
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

### その他の安全事項

**1. 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

## ⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

## ⚠警告

10.充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11.充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

| 太さ（導体公称断面積） | 長さの目安 |
|---|---|
| 2.0 $mm^2$ | 30 m |

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# 充電式ヒートガン安全上のご注意

JPB332-1

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ヒートガンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

加熱作業に関する注意事項

1. 作業を開始する前に必ず作業領域を確認し、安全性が確認されない場合には使用しないでください。
   - 見えない部分（ケース、天井、床、空洞部の内部）に存在する可燃物に発火する恐れがあります。
2. 揮発性引火物（シンナー、ガソリンなど）や可燃物の近くでは使用しないでください。
   - 発火や爆発の恐れがあります。
3. プラスチック、ラッカー塗装、または同等材料への作業での使用は、刺激の強い有毒ガスが発生することがあります。
   - 作業場所は常に換気を行うとともに、防じんマスクを使用してください。
4. 人や動物に直接熱風を当てないでください。ノズルをのぞかないでください。ヘアドライヤーとしては絶対に使用しないでください。
   - やけどの原因になります。
5. ヒートガンを上下左右に動かしながら、ゆっくり加熱してください。
   - 1 か所を連続して加熱すると発煙や発火の原因になります。
6. スイッチを入れたまま、その場をはなれないでください。
   - 発火や事故の原因になります。
7. 作業中や作業直後のヒートノズルや先端ノズル、材料に手や顔を近づけないでください。また使用直後のノズルは大変熱くなりますので、手袋などを着用して触れないようにしてください。

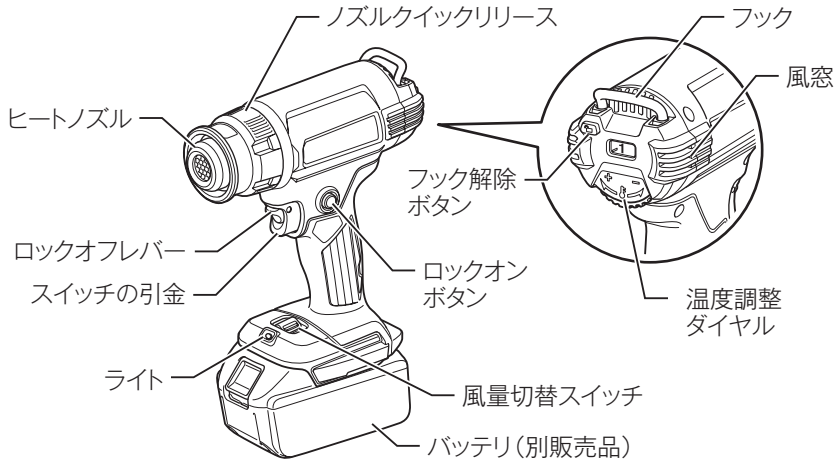
その他の注意事項

1. 本製品は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、身体的･精神的･感覚的な障害をお持ちの方、経験や知識がない方が使用できます。
2. 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使用しないでください。
3. 使用中､本製品の調子が悪かったり､異常音がしたときは､直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 高所作業の場合は下に人がいないことをよく確認してください。またコードを引っ掛けたり、引っ張られたりしないようにしてください。
   - 材料や本製品を落としたときなど、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

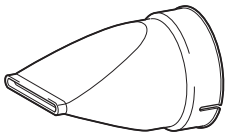
1. 付属の先端ノズルは鋭利な部分がありますので、ケースから取り出すときや取り付け、取りはずしの際は手袋などを着用してください。
2. 先端ノズルの取り付け、取りはずしの際は、ヒートノズルおよび先端ノズルを十分に冷却してから行ってください。
   - 高温状態のヒートノズルおよび先端ノズルを触るとやけどの原因になります。
   - 高温状態の先端ノズルを取りはずして放置すると発火の原因になります。
3. 使用後はヒートノズルを上向きに設置した上で冷却してください。
   - ノズルを下向きのままにしたり、横向きで燃えやすいところに放置した場合、本製品過熱による故障や、発火の原因になります。
4. 本製品および先端ノズルを収納するときは、本製品および先端ノズルが完全に冷えたことを確認してください。
   - やけどや収納ケースが変形する原因になります。
5. 箱や引き出しなどの密閉空間で使用しないでください。
6. 長時間同じ個所に使用しないでください。
   - 1 か所を連続して加熱すると発煙や発火の原因になります。
7. 加熱する対象物の性質を考慮して、温度設定をしてください。また、同時に加熱される周辺の材質などにも注意してください。最初、対象物からはなれた位置から熱風を吹きつけ、対象物の変化を見ながら徐々に近づけて、適正な距離を把握してください。
8. 使用する場合は、対象材料から 5 cm 以上ノズルを離して、作業してください。また、ノズルをふさいで熱風をさえぎらないでください。
   - 本製品過熱による、故障の原因になります。
9. スイッチの ON / OFF を連続的に行わないでください。
   - 故障の原因になります。
10. 本製品を設置して使用するときは安定した場所で使用してください。
    - 不安定な場所や傾斜のある場所で本製品を上向きに設置して作業すると、倒れるなどしてけがの原因になります。
11. 付属品は確実に取り付けてください。
    - けがや事故の原因になります。
12. 先端ノズルはマキタ純正品を使用してください。
    - 本製品の性能を十分に発揮できない恐れがあります。

# 各部の名称および標準付属品

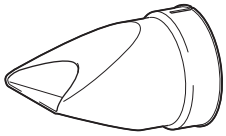



## 標準付属品

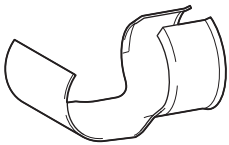
・ 平面ノズル



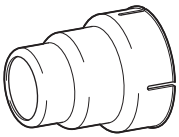
・ ガラス保護ノズル



・ 曲面ノズル



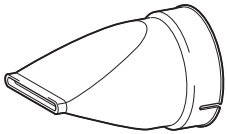
・ 丸ノズル



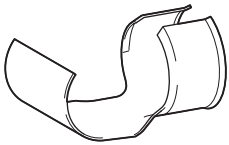
# 別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

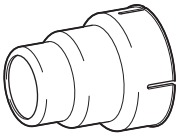
・ 平面ノズル
部品番号：A-67212



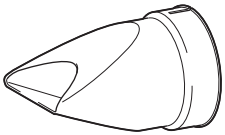
・ 曲面ノズル
部品番号：A-67228



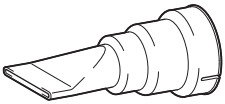
・ 丸ノズル
部品番号：A-67234



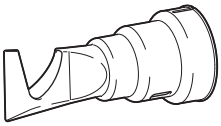
・ ガラス保護ノズル
部品番号：A-67206



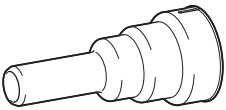
・ 集中ノズル（平）
部品番号：A-67240



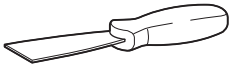
・ 切欠きノズル
部品番号：A-67256



・ 集中ノズル（丸）
部品番号：A-67262

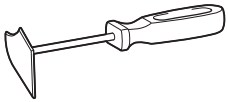


・ スクレーパ
部品番号：A-67278

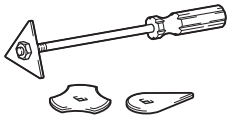


# 別販売品のご紹介

・ スクレーパ
部品番号：A-67290



・ スクレーパ
部品番号：A-67284



・ バッテリ BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311

・ バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715

・ バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442

・ バッテリ BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900

・ バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464

# バッテリ（別販売品）について

## バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

## バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

# バッテリ（別販売品）について

## バッテリの取り付け・取りはずし方

**⚠ 警告**

**本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。**

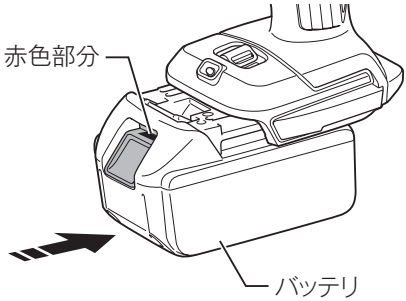
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

**バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。**

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

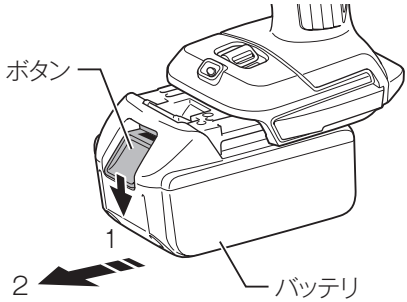
### 取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。




### 取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。

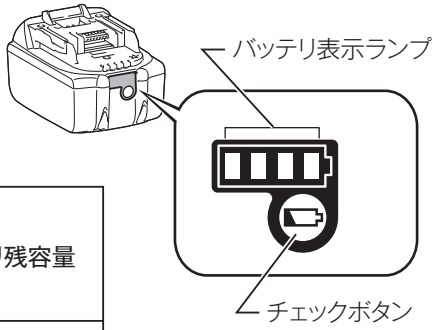


# バッテリ（別販売品）について

## バッテリ残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリは、残容量表示機能が付いています。

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。




| バッテリ表示ランプ<br>■:点灯　◪:点滅　□:消灯 | バッテリ残容量 |
|---|---|
| ■ ■ ■ ■ | 75 % - 100 % |
| ■ ■ ■ □ | 50 % - 75 % |
| ■ ■ □ □ | 25 % - 50 % |
| ■ □ □ □ | 0 % - 25 % |
| ◪ □ □ □ | 充電してください。 |
| ■ ■ □ □<br>↓ ↑<br>□ □ ■ ■ | バッテリの異常です。 |

## 注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

# 使い方

## スイッチの操作

**⚠ 警告**

**本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。**

・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に動作し、事故の原因になります。

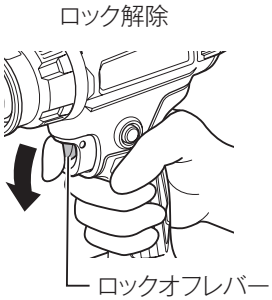
**注**

・ **本製品を最初に使用した時、製品内にある湿気が加熱され、水蒸気（湯気）がヒートノズルから出る場合があります。この現象は正常であり、すぐに出なくなります。**

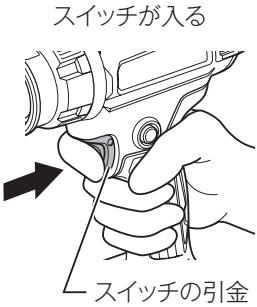
## スイッチの入れ方

スイッチにはロックオフレバーが付いています。使用しないときはロックされた状態です。

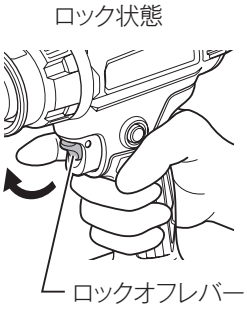
1. ロックオフレバーを矢印の方向に押し下げます。




2. スイッチの引金を引きます。

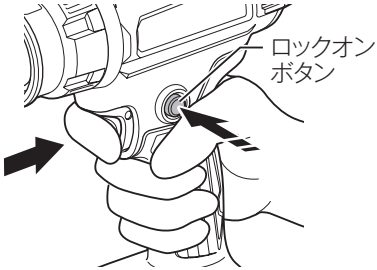


3. スイッチの引金を放すと元に戻り、ロック状態になります。



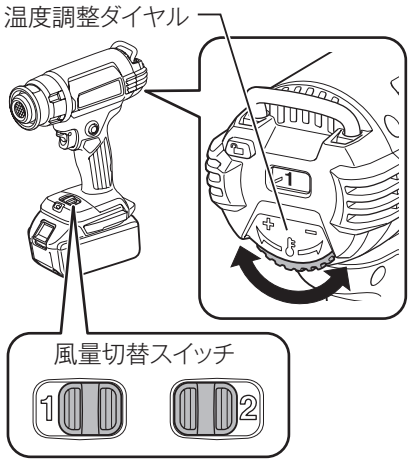

## スイッチを入れたままにするには

1. スイッチの引金を引いた状態で、ロックオンボタンを押し込みます。スイッチの引金から指を放すと、スイッチが入ったままになります。
2. スイッチの引金を再度引くとロックオンが解除されます。



## 温度調整と風量切替

・ 温度調整ダイヤルを回すことにより、吹き出し温度の調整ができます。用途に応じて、温度の調整をしてください。




| 温度調整ダイヤル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 温度 | 環境温度 | 150 ℃ | 250 ℃ | 350 ℃ | 450 ℃ | 550 ℃ |

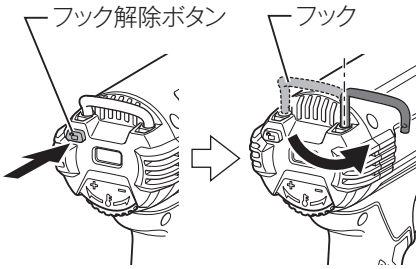
※温度は環境温度などにより変化しますので、目安としてください。

・ 風量切替スイッチで風量を２段階に切り替えることができます。用途に応じて、風量を切り替えてください。
・ 熱変形させた材料を早く硬化させたいときや、作業後に高温になったノズルを冷却するときは、温度調整ダイヤルを１に、風量切替スイッチを２に設定して、冷却してください。

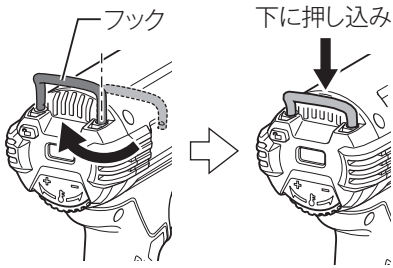
## フックの使い方

フックはロックを解除して動かすことができます。

1. フック解除ボタンを押して、フックのロックを解除します。
2. フックを回し、ご使用ください。




3. フックを収納するときは、フックを元の位置に戻します。
4. フックを下に押し込み、カチッと音がすると固定されます。



## 先端ノズルの取り付け・取りはずし

### ⚠ 警告

先端ノズルの取り付け、取りはずしのときはスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ 不意な始動によるけがの原因になります。
使用直後の先端ノズルおよびヒートノズルは高温になっていますので触らないでください。
・ やけどの原因になります。

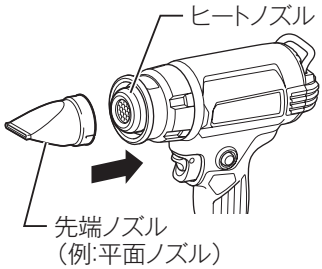
### ⚠ 注意

付属の先端ノズルは鋭利な部分がありますので、ケースから取り出すときや取り付け、取りはずしの際は手袋などを着用してください。
先端ノズルの取り付け、取りはずしの際は、先端ノズルおよびヒートノズルを十分に冷却してから行ってください。
・ 高温状態の先端ノズルおよびヒートノズルを触るとやけどの原因になります。
・ 高温状態の先端ノズルを取りはずして放置すると発火の原因になります。

・ 作業用途に合わせて先端ノズルを交換してください。

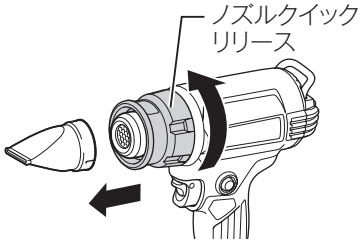
### 取り付け方

1. ヒートノズルに、付属の先端ノズルを突き当たるまでしっかりと差します。




### 取りはずし方

1. ノズルクイックリリースを矢印の方向に回すと先端ノズルがはずれます。



## 上向き作業

### ⚠ 警告

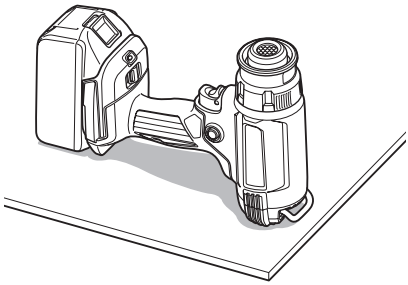
**使用直後の先端ノズルおよびヒートノズルは高温になっていますので触らないでください。**
・ やけどの原因になります。

**本製品からはなれるときは、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。**

### ⚠ 注意

**本製品を設置して使用するときは安定した場所で使用してください。**
・ 不安定な場所や傾斜のある場所で本製品を上向きに設置して作業すると、倒れるなどしてけがの原因になります。

・ 図のようにヒートノズルを上向きにして使用することができます。
・ ヒートノズルを上向きにして使用するときは、スイッチの引金を引いてから、ロックオンボタンを押し、スイッチを入れたままにします(21 ページ参照)。



# 作業方法

## ⚠ 警告

揮発性引火物（シンナー、ガソリンなど）や可燃物の近くでは使用しないでください。
作業中や作業直後のヒートノズルや先端ノズル、材料に手や顔を近づけないでください。また使用直後のノズルは大変熱くなりますので、手袋などを着用して触れないようにしてください。

## ⚠ 注意

加熱する対象物の性質を考慮して、温度設定をしてください。
また、同時に加熱される周辺の材質などにも注意してください。
最初、対象物からはなれた位置から熱風を吹きつけ、対象物の変化を見ながら徐々に近づけて、適正な距離を把握してください。

### 加熱

1. 本製品のスイッチを ON にし、ノズル先端を加熱対象面に近づけ加熱します。

**注**

・ 加熱作業の際には下表を目安にし、火災に十分注意して使用してください。

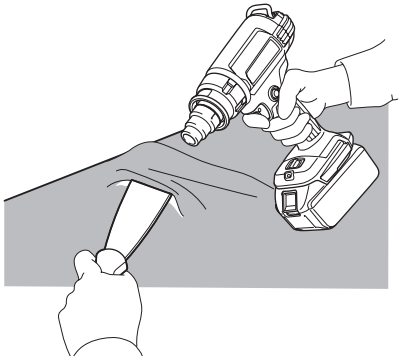
| | |
|---|---|
| 可燃物の加熱<br>（紙、木材、プラスチックなど） | ・ 使用の際には温度を低めに設定し、加熱対象からノズルの先端までの距離を 10 cm 以上離して使用してください。<br>・ ノズルの先端を上下左右に動かしながらゆっくり加熱してください。<br>・ 1 か所を連続して加熱すると発煙や発火の原因になります。 |
| 非可燃物の加熱<br>（金属、石、コンクリートなど） | ・ 使用の際には温度を低めに設定し、加熱対象からノズルの先端までの距離を 5 cm 以上離して使用してください。対象の状態に応じて温度を徐々に上げてください。<br>・ 先端を近づけすぎると、本製品の温度が急激に上昇し発火の原因になります。 |

# 作業方法

・ 作業用途に合わせて先端ノズルを交換してください（24 ページ参照）。

## 作業例 1

・ 塗装のはがし
先端ノズル（丸ノズルまたは平面ノズル）を使用して、熱風で塗料を柔らかくし、スクレーパ（別販売品）で削り取ります。

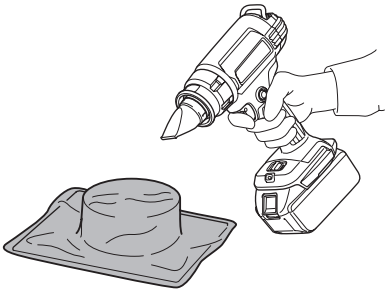


**注**

・ **塗料を温めすぎると、塗料が焼き付いて硬くなり、取りにくくなります。**

## 作業例 2

・ 加熱包装
先端ノズル（平面ノズル）を使って、熱収縮フィルム、チューブの加熱包装を行います。

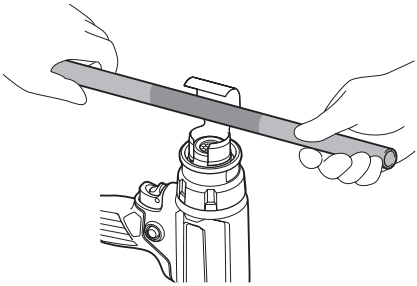


**注**

・ **材料に近い位置で熱風を吹きつけると、しわや変色、破れが出ますので、距離を置いて加減を見てください。**

## 作業例 3

・ 樹脂管の成形
先端ノズル（曲面ノズル）を使用して、樹脂管の周囲を均一に温めます。

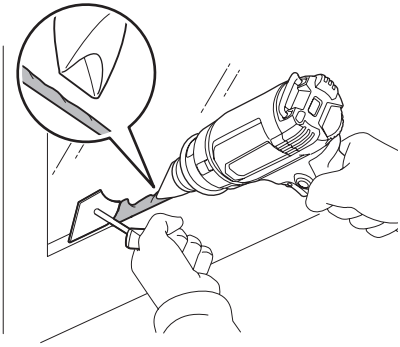


**注**

・ 折り曲げなどで、内径が細くなることを避けたいときは、管内に砂を入れ両端に栓をして、ゆっくり曲げてください。

## 作業例 4

・ 窓枠パテのはく離
先端ノズル（ガラス保護ノズル）を使用し、熱風でパテを柔らかくして、スクレーパ（別販売品）などでパテを取ります。



**注**

・ ガラスに熱風を当て続けると割れることがあります。

# 保護機能

## 本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

| 保護機能 |
| --- |
| ・ バッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。<br>・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。<br>・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 |
| ・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。<br>・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。 |

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

**症状**

- 本製品が停止する
- 始動しない

**原因**

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

**解消方法**

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 29 ページ参照。

・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

# 保守・点検について

## ⚠ 警告

**点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。**
- 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

## 保管する際は

- 本製品および先端ノズルが完全に冷えたことを確認して保管してください。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- フックを使い、本製品を吊るすことができます。脚立に引っ掛けたり、市販のカラビナを付けたりしてお使いください。

## 注

- **フックは本製品を吊るすためのものです。他の目的に使用しないでください。**

## 本製品のお手入れ

- 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

## 注

- **水洗いは絶対にしないでください。**
  - 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

## ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

HG181D-JP-2503
IWT